

令和7年度

社会福祉法人茅野市社会福祉協議会事業報告

I 総括

令和7年度は、少子高齢化の進行や地域におけるつながりの希薄化が一層進み、地域生活課題が複雑化・複合化する中で、本会の果たすべき役割の重要性を改めて強く認識した一年となりました。制度の狭間にあるニーズへの対応や、従来の枠組みでは捉えきれない課題が顕在化する中、本会は住民に最も身近な立場から支援の在り方を問い続けることが求められております。

このような中、本会においては、地域福祉の中核的推進主体としての役割を踏まえ、住民主体の原則のもと、多様な関係機関・団体との連携により、包括的かつ重層的な支援体制の構築に取り組みました。また、中期経営計画に基づく事業の再編・見直しを進め、経営資源の有効活用と持続可能な法人運営の確立に努めるとともに、社協賛助会費の見直しを行うなど財源基盤の強化を図りました。さらに、住民同士のつながりの再構築や災害時に備えた平時からの関係づくりを重視し、各種事業を推進しました。

具体的には、重層的支援体制整備事業への着手として、制度の趣旨を踏まえ、相談支援、参加支援及び地域づくり支援を一体的に実施する体制の構築を進めるとともに、関係部署及び関係機関との連携強化を図り、分野横断的な支援を推進する基盤整備に取り組みました。当該取組は、本会の機能強化と今後の方向性を示す重要な取組となりました。

また、中期経営計画における経営改革アクションプランに基づき、事業の選択と集中の観点から検証を行い、在宅生活を支えるサービスニーズの多様化を踏まえ、西部デイサービスセンターを廃止しました。これにより、経営資源の適正配分と将来を見据えた持続可能な経営基盤の強化を推進しました。さらに、地域福祉活動への理解促進と参加の拡大を目的として、ホームページの全面リニューアル及び「かわら版」の刷新等、広報機能の強化を図り、情報発信の質及び到達性の向上に努めました。

加えて、地域における孤立の防止及び住民相互の交流促進を目的として「あおぞらカフェ」を展開し、住民主体による交流の場としての定着を図ることで、地域コミュニティの醸成に寄与しました。あわせて、災害時における地域支援体制の強化を図るため、地域住民を交えた研修会を開催するとともに、4市社協による災害時相互応援協定を締結し、広域的な支援体制の整備を進めました。これにより、平時からの顔の見える関係づくりを推進するとともに、実効性のある支援体制の構築に努めました。

本年度は、社会福祉協議会に求められる地域福祉の推進役として、制度対応と地域づくりの両面から事業を展開しました。今後も、地域住民、関係機関及び行政との協働のもと、誰もが支え合いながら安心して暮らすことができる「ともに生きる豊かな地域社会」の実現に向け、取組を推進してまいります。

II 令和7年度 事業報告

1 法人・地域福祉推進事業

(1) 法人運営事業

理事会及び評議員会等を開催し、事業計画及び資金収支予算の策定並びに決算・監査を実施するなど、本会の基幹業務を計画的に実施しました。

また、令和7年6月には社協ホームページの全面リニューアルを行い、Facebookの活用と併せて広報機能の強化を図り、社協事業のPRやボランティア情報等の積極的な発信に努めました。

さらに、本会は市民とともに多様な事業・活動に取り組み、地域共生社会の実現に向けた協働の中核を担う組織として、その役割と機能の発揮が一層求められています。こうした状況を踏まえ、令和7年度は本会の果たすべき役割と目指す方向性を明確にするため、「茅野市社会福祉協議会中期経営計画における経営改革アクションプラン（Management Reform Action Plan 2025）」を策定し、経営資源の適正配分及び将来を見据えた持続可能な経営基盤の強化に向けた改革を推進しました。

① 管理運営事業

令和7年度決算	52,763,546円	(前年度比▲6,300,982円)
令和6年度決算	59,064,528円	

(ア) 経営委員会・理事会・評議員会等の開催

開催日	会議名	出席数	主な内容
5月28日(水)	経営委員会(第1回)	7人	第1回理事会提出議案の検討等
6月5日(木)	理事会(第1回)	8人 (監事2人含む)	令和6年度事業報告、決算報告等 5議案
6月20日(金)	評議員会(第1回)	10人 (理事4人含む)	令和6年度事業報告、決算報告等 2議案
6月27日(金)	理事会(第2回)	10人	会長、副会長及び常務理事の選定について 1議案
9月25日(木)	経営委員会(第2回)	7人	中期経営計画における経営改革アクションプランの策定について等 1議案
10月7日(火)	理事会(第3回)	9人 (監事2人含む)	中期経営計画における経営改革アクションプランの策定について等 1議案
3月3日(火)	経営委員会(第3回)	7人	第4回理事会提出議案の検討等
3月12日(木)	理事会(第4回)	9人 (監事2人含む)	令和7年度補正予算等 7議案
3月27日(金)	評議員会(第2回)	9人 (理事監事4人含む)	令和8年度事業計画、予算等 2議案

(イ) 定例監査の実施

5月26日(月)	令和6年度の事業報告及び決算について
----------	--------------------

(ウ) 役員・評議員研修等

開催日	内 容
1月16日(金)	諏訪ブロック社協役員及び職員合同研修会 会 場：イルフプラザカルチャーセンター多目的ホール（岡谷市） 講演内容：「災害発生における被災地の支援について ～社協職員だからできること～」 講 師：office SONOZAKI 代表 園崎 秀治氏 本会出席者：理事・職員 計7人

(エ) 諸規程等の整備

種別	規程等	改正	施行日
規程	正規職員の給与等に関する規程 嘱託職員の給与等に関する規程 時給職員の給与等に関する規程 日給職員の給与等に関する規程	一部改正	令和7年4月1日 令和8年4月1日
	表彰規程	一部改正	令和7年8月1日
	文書取扱規程	一部改正	令和7年10月1日
	公印管理規程	一部改正	令和8年1月1日
	事務局規程	一部改正	令和8年2月1日
	旅費規程	全部改正	令和8年4月1日
規則	正規職員初任給、昇格、昇給等に関する規則	一部改正	令和7年4月1日
	育児・介護休業等に関する規則	一部改正	令和7年10月1日
要綱	後援名義等使用承認取扱要綱	一部改正	令和7年7月7日
	有料広告掲載等取扱要綱	制定	令和7年10月1日
	職員証取扱要綱	制定	令和8年1月1日
要領	移送サービス事業実施要領	一部改正	令和8年2月1日
指針 他	会合出席費用に係る公費支出基準	制定	令和7年11月1日
	西部デイサービスセンターの廃止に伴うデイサービス事業関連の指針等	一部改正 廃止	令和8年2月1日
	中期経営計画における経営改革アクションプラン (Management Reform Action Plan 2025)	策定	令和7年10月

(オ)職員採用

業務が円滑に執行できるよう年間を通して職員募集を行っています。

応募等の状況

応募者数	5人
採用者数	2人
不採用者数	1人
採用辞退者数	2人

(カ)職員研修

職員の成長と組織の発展につなげるため、「茅野市社協人材育成基本指針」に基づき、目指すべき職員像や組織的な取組の方策を踏まえた職員研修を実施しました。

長野県社協福祉人材センターが実施する福祉職員生涯研修を活用し、職層に応じた研修に加え、あすなろセンター等の本会事業所業務を体験する職場内研修を実施しました。

また、職員のスキル向上を図るため、資格取得支援制度の活用による資格取得の促進や、業務に関連する専門研修への参加を推進しました。さらに、研修受講後には振り返りを行うとともに、職場内での伝達・報告を通じて、組織力の向上につなげました。

研修参加状況

参加研修数	65件
参加職員数(延べ)	254人

職員の資格取得支援制度の利用状況

2件

(キ)中期経営計画の進行・管理

「茅野市社協中期経営計画(計画期間:2024年度~2027年度)」に基づき、本会の持続可能な経営に向け、職員の目的意識やコスト意識の向上を図るとともに、事業実施により得られた実績や成果を踏まえ、限られた資源(ヒト・モノ・カネ・情報)を効率的かつ効果的に活用し、事務事業を推進しました。

令和7年度は、PDCAサイクルの推進により、本会が実施する事業及び事務について目的・目標を明確化し、その実施結果を適切に評価するとともに、その評価を次年度以降の事業計画及び予算に反映する仕組みとして整理しました。

○事務事業評価 (実施件数 85事務・事業)

格付	評価の定義	件数
A	計画通りに事業を進める	29
B	事業の実施方法やコストの投入等について改善を要する	47
C	事業の休止・廃止を検討する	0
評価対象外	広域的事業や令和4年度に実施した事業の棚卸結果を受け続けた事業	9

○次年度の成果とコストの方向性

成果の方向性	拡充				2	35	5
	現状維持				2	30	
	縮小				1		
	休廃止			3			
	見直し						
	対象外	7					
		対象外	見直し	皆減	縮小	現状維持	拡大
コスト（費用又は人的資源）と投入の方向性							

(ク)社協会費の収納

社協活動への理解と参加を促進するため、住民会員制度を設け、活動にご理解とご賛同をいただく中で、社協会費の納入をお願いしています。

世帯（個人）会員の会費については、区・自治会の協力により広く市民の皆様から納入いただいておりますが、会員数（会費収入）は減少傾向にあります。

このため、ホームページや広報紙「やらざあ」を活用し、社協活動への理解と賛同を深めていただけるよう積極的な情報発信に努め、会員数の増加につなげています。

社協会員・会費実績

			令和5年度	令和6年度	令和7年度
世帯（個人）の会員	普通会員 (R7～一般賛助会員)	会員数	6,965世帯	6,980世帯	6,869世帯
		会費	6,861,777円	6,896,275円	6,732,197円
	賛助会員	会員数	272世帯	266世帯	—
		会費	546,010円	532,200円	—
	特別会員 (R7～特別賛助会員)	会員数	156世帯	152世帯	330世帯
		会費	517,000円	508,000円	1,081,000円
	合計	会員数	7,393世帯	7,398世帯	7,200世帯
		会費	7,924,787円	7,936,475円	7,813,197円
法人会員 (R7～法人賛助会員)	会員数	145団体	156団体	157団体	
	会費	706,000円	752,000円	1,134,000円	
会費合計			8,630,787円	8,688,475円	8,947,197円

世帯（個人）の会員の地区別実績

	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	会員数 (世帯)	会費 (円)	会員数 (世帯)	会費 (円)	会員数 (世帯)	会費 (円)
ちの	1,253	1,403,723	1,284	1,441,552	1,196	1,374,278
宮川	1,342	1,467,863	1,330	1,461,241	1,289	1,464,790
米沢	430	463,270	402	438,600	394	435,000
豊平	932	954,020	946	972,550	973	980,200
玉川	1,553	1,613,419	1,499	1,560,372	1,472	1,556,888
泉野	350	363,611	335	347,510	333	342,971
金沢	453	486,800	461	500,100	443	481,200
湖東	363	390,581	382	402,950	365	395,370
北山	498	523,000	544	564,100	546	566,500
中大塩	217	251,500	214	244,500	188	213,000
地区外	2	7,000	1	3,000	1	3,000
合計	7,393	7,924,787	7,398	7,936,475	7,200	7,813,197

(ケ) 寄附の受付

寄附金や遺志金、寄附物品を受付、寄附の記録を行い適正に管理しました。

寄附の実績

	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)
寄附金	42	1,547,172	33	2,573,774	37	1,867,426
遺志金	4	1,470,050	1	300,000	7	5,989,567
寄贈(※1)	0	0	0	0	0	0
その他の寄附(※2)	54	—	86	—	59	—
合計	100	3,017,222	120	2,873,774	103	7,856,993

(※1) 会計処理が必要な100,000円以上の寄贈品の相当額

(※2) 食料品、清拭布、紙おむつ、生理用品等の寄附

(コ) 税額控除対象法人証明

租税特別措置法に規定する個人寄附者に対する所得税の税制優遇措置として「税額控除制度」が、茅野市社協への寄附金・社協賛助会費にも適用されるよう、税額控除対象法人の証明を所管庁である茅野市から受けています。

税額控除制度は、小口寄附の寄附者への減税効果が高く、新たな寄附者やこれまで以上に多くの寄附金を支出する寄附者が増えることが期待されます。

- ・証明書交付日：令和5年2月1日
- ・有効期間：令和5年2月1日～令和10年1月30日
- ・控除額の計算：(税額控除対象寄附金－2,000円) × 40%

② 広報・啓発事業

令和7年度決算	2,132,738円	(前年度比 1,170,665円)
令和6年度決算	962,073円	

(ア) 広報紙の発行

広報紙「やらざあ」を年6回定期発行し、社協活動や地域福祉活動に関する情報発信を行いました。令和6年度からは、新たにパブリックリレーションズ委員会（PR委員会）を設置し、市民に分かりやすく伝わる紙面となるよう掲載内容の検討を行い、発行しています。

また、令和7年度からは、地区単位での福祉活動の紹介を「ちいき×（カケル）ふくし」と題し、毎号特集記事として掲載しました。さらに、市内に住む大人から子どもまで多くの人々の活動の様子が伝わるよう、表紙の工夫にも取り組みました。

号	特集記事・主な内容
4月号	ちょきちょきボランティア報告、ボランティア活動助成金の募集
6月号	ホームページリニューアルのお知らせ、サマーチャレンジ2025の案内
8月号	手作りの牛乳パック椅子で地域に貢献、おいじたく講座のお知らせ
10月号	お年寄りを詐欺から守ろう！、くらしお役立ち講座のお知らせ
12月号	ちいき×ふくし、社協会費の報告、支援米募集のお知らせ
2月号	ちょこっとボランティア開催、ボランティア保険のお知らせ

(イ) ホームページ等による情報の発信

様々な媒体を活用し、福祉活動に関する積極的な情報発信を行いました。

- ・ 広報紙「やらざあ」に掲載した記事をはじめ、社協活動の紹介等をホームページやFacebookに投稿し、タイムリーな情報提供に努めました。
- ・ 市民の皆様にとって身近で親しまれるホームページとなるよう、令和7年6月にリニューアルを実施しました。
- ・ 幅広い年代へのPRを目的に、社協のイメージキャラクター「シャララ」を活用したステッカーやクリアファイルを作成・配布しました。
- ・ 市内郵便局（簡易郵便局を除く10局）に設置されています掲示板「かわら版」を活用して、市民の皆様が必要とする情報を毎月発信しました。

① 小地域福祉活動推進事業

令和7年度決算	50,278,766円	(前年度比 1,299,632円)
令和6年度決算	48,979,134円	

(ア) 地区社会福祉協議会活動の支援

住民主体による福祉活動を推進していただくために、地区社協活動を各地区コミュニティセンターと協働で支援に取り組みました。

主な活動内容

<ul style="list-style-type: none"> ・第3次(豊平地区は第4次)地区地域福祉行動計画の推進 ・地区ボランティア活動費、福祉推進委員活動費の助成、サロン活動等への支援 ・福祉推進委員連絡会や研修会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・戦没者等追悼式の開催 ・情報紙の発行 ・高齢者等の昼食会や配食、世代間交流活動 ・赤い羽根共同募金活動 ・生活支援体制整備事業への参画 など
--	---

(イ) 福祉推進委員活動の支援

地域における支え合い活動をはじめ、福祉推進委員活動全般について相談に応じ、活動を支援しました。

活動内容

福祉推進委員連絡会等への支援 各区・自治会の取り組みへの支援	67回	福祉推進委員の活動や課題等の情報交換、講演会、研修会の開催支援 定例会議への参加や地域懇談会の開催支援、福祉活動、支え合い活動への相談対応や取組支援
-----------------------------------	-----	---

(ウ) 重層的支援体制整備事業

令和7年度から、茅野市より重層的支援体制整備事業を受託し、複合化・複雑化した課題を抱えながらも支援が届いていない方の把握に取り組みました。そのため、支援関係機関との連携強化や地域住民とのつながりの構築を進めました。

また、地域住民のニーズや地域課題の把握を目的に丁寧な訪問活動を行うとともに、徒歩で参加できる身近な場所で「おうちDEサロン(あおぞらカフェ)」を開催し、世代や属性を超えて住民同士が交流できる多様な居場所づくりを支援しました。

主な活動内容

<ul style="list-style-type: none"> ・個別訪問による地域資源の発掘と住民ニーズの把握 ・地域懇談会開催への相談、支援 ・生活支援サービス開発への相談、支援 ・事業や生活支援コーディネーターの役割の周知 ・地域における支え合い活動の情報収集と情報発信 ・居場所づくりへの相談、支援
--

⑥住民の日常生活支援（個別訪問支援活動の実施）

コミュニティソーシャルワーカーが、支援を必要とする人の存在とその課題を早期に発見するため、ひとり暮らしの高齢者世帯等を訪問しました。課題を抱えた人が、必要なサービスを利用しやすくなるよう支援し、課題解決に向けて取り組みました。

活動内容

項目	件数
個別訪問活動と相談・支援	4,220件
個別の相談・支援に関わる連携	3,626件
地域福祉活動への支援	775件

⑦地域懇談会の開催

各区・自治会、団体等で地域の現状や課題を共有し、今後、地域が目指す姿や地域の支え合いのためにできることなどを話し合う地域懇談会を、諏訪中央病院の医師や専門職をはじめ、区長・自治会長、福祉推進委員、ボランティア等と協力して開催しました。

開催回数：15回

⑧おうちDEサロン（あおぞらカフェ）の開催

歩いて行かれる身近な場所で開催することで、世代や属性を超えて住民同士が交流できる多様な居場所づくりを行いました。

開催回数：18回

⑨「こんにちは！社協です！」の発送

市内のひとり暮らし高齢者を対象に、孤独感の解消や安否確認、必要とされる情報の提供、ニーズ把握を目的に年4回発送しています。市内の郵便局と連携して取り組むことで、地域の見守りや安全・安心なまちづくりの充実を目指しています。

郵便局員に対象者へのお便りの手渡しと声かけを依頼するとともに、配達時に気になったことや心配なことがあった場合は、地区担当のコミュニティソーシャルワーカーへ情報を伝えていただいています。

発送実績

発送月	4月	8月	10月	1月	総数
発送数	448通	454通	458通	457通	1,817通
郵便局員からの情報数	7件	2件	4件	4件	17件

⑩ 福祉団体助成事業

令和7年度決算	3,064,138円	(前年度比 ▲18,906円)
令和6年度決算	3,083,044円	

(ア) 福祉団体助成

地域における社会福祉活動を推進するため、茅野市内で地域福祉活動を行う関係団体に対し、助成金を交付しています。令和7年度は、福祉関係団体活動助成金交付要綱に規定する助成金対象団体等のうち、3団体に交付しました。

助成団体	助成金額
茅野市民生児童委員協議会	100,000円
茅野市社会を明るくする運動実施委員会	80,000円
茅野南諏分区保護司会茅野市支部	45,000円

(イ) 社協賛助会費交付

社協賛助会費実績の20%分と地区団体への助成金分を合わせて、交付金を地区社協へ交付しました。

地区	交付額	地区	交付額
ちの	444,255円	泉野	163,094円
宮川	362,358円	金沢	141,240円
米沢	228,800円	湖東	218,874円
豊平	435,240円	北山	281,300円
玉川	521,377円	中大塩	42,600円
交付額合計			2,839,138円

(3) 相談・生活支援事業

市民からの様々な相談に応じて、公的制度では十分に対応することができないニーズに対する支援を実施しました。

① 総合相談事業

令和7年度決算	465,922円	(前年度比 41,922円)
令和6年度決算	424,000円	

(ア) 結婚相談

相談員が結婚を希望される方の相談に応じて、登録者の中から一緒にお相手を探します。

令和5年度から、長野県婚活支援センターが運営する「ながの結婚マッチングシステム」を導入し、お相手探しやマッチングを容易にしました。

- ・開設日時：毎月第1・第3土曜日 午後1時～午後4時
毎月第2・第4金曜日 午後6時30分～午後8時30分
- ・会場：茅野市ひと・まちプラザ社協相談室
- ・相談員：委嘱した結婚相談員 4名

相談実績等

		令和5年度	令和6年度	令和7年度
登録者数 (新規)	男性	38人(9人)	45人(15人)	39人(15人)
	女性	13人(4人)	15人(8人)	17人(8人)
	合計	51人(13人)	60人(23人)	56人(23人)
相談件数	男性	23件	36件	34件
	女性	15件	18件	17件
	合計	38件	54件	51件
本人来所率		100.0%	100.0%	100.0%
成 婚 数		0件	1件	0件

(イ) 司法書士の法律相談

身近な法律相談窓口として、住民のあらゆる生活問題を受け止め、問題解決につなげていくための、専門的な助言（相続や多重債務に関する助言等）や情報提供を行っています。

- ・開設日時：毎月第2水曜日 午後3時～午後5時 完全予約制（1日3件まで）
- ・会 場：茅野市ひと・まちプラザ社協相談室
- ・相 談 員：司法書士会茅野地区会（成年後見制度研修修了者4名）

相談件数

		令和5年度	令和6年度	令和7年度
開設日数		12日	12日	12日
相談件数		31件	30件	29件
対 応	解 決	21件	23件	22件
	他機関を紹介	2件	1件	3件
	その他	8件	6件	4件

② シャララ・ほっとサービス事業

令和7年度決算	426,647円	(前年度比 ▲22,467円)
令和6年度決算	449,114円	

安心して暮らせる地域づくりを目的として、本会が独自に創設・実施している、ボランティア活動と公的サービスの中間に位置づけられる住民参加型の福祉サービスです。公的な福祉サービスや従来のボランティア活動では対応が難しい日常生活の困りごとに対し、協力会員として登録した市民が支援を行います。

また、利用を希望される方にも会員登録をお願いしており、利用にあたっては1時間あたり700円～850円の利用料をご負担いただいています。

令和7年度利用実績

	高齢者世帯	障害者(児)のいる世帯	子育て中の世帯
状 況	足腰の悪い方、力仕事が困難な方、認知症、退院後間もない方など	心の病（うつ病、統合失調症等）を持つ方、視覚障害の方、車椅子の方、難病の方、重度障害児を育てる家庭など	ひとり親家庭の家事支援など
援助内容	掃除、買い物、洗濯、話し相手、可燃・不燃・リサイクルごみ出し、薬の受取り、代行手続き、院内介助、散歩介助など	掃除、可燃・不燃ごみ出し、買い物、話し相手、院内介助など	調理など
利用世帯数	25世帯	7世帯	1世帯
利用回数	232回	108回	6回
延べ利用時間	254時間	129時間	12時間

登録状況

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用会員数（新規）	57人（6人）	64人（10人）	75人（23人）
協力会員数（新規）	20人	19人	13人（2人）

③ ひとり暮らし安心コール事業

令和7年度決算	115,830円	(前年度比 ▲58,515円)
令和6年度決算	174,345円	

ひとり暮らし高齢者と定期的に電話によるコミュニケーションをとることにより、電話をした時点での利用者の安否確認、健康状態及び生活状況の確認をするとともに、孤独感の解消を図り、情報をキャッチする場となり、もって利用者の在宅生活の向上を図ることを目的として実施しました。

- ・事業内容：最大週2回利用者の希望する曜日の時間に協力員より電話をかけます。
- ・協 力 員：10名（令和8年3月31日現在）
- ・対 象 者：おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者

利用実績等

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
登録者数	18人	17人	13人

令和7年度通話実績（不在回数除く）

(回)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
回数	47	49	45	55	49	53	53	46	45	43	41	49	575

④ 一般介護予防通所事業（塩つぼの湯デイサービス）

令和7年度決算	21,591,356円	（前年度比 1,818,239円）
令和6年度決算	19,773,117円	

要介護状態等になるおそれの高い高齢者を対象に、要介護状態への移行を予防することを目的として、高齢者福祉センター塩つぼの湯において通所型の介護予防事業を行っています。送迎・昼食・相談・運動や脳トレ、レクリエーション等の介護予防メニュー、看護師による運動機能評価や個別指導を実施しています。

- ・実施日：毎週火・水・木・金・土（祝日及び年末年始は除く）
- ・利用時間：午前9時30分～午後2時30分

利用状況

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
延利用者数	2,333人	2,037人	2,128人

令和7年度利用状況

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
登録者数	46	49	50	49	50	50	51	54	56	55	54	49	
延利用者数	176	170	171	185	160	175	207	180	196	170	161	177	2,128

⑤ 外出支援事業（移送サービス）

令和7年度決算	5,633,471円	（前年度比 ▲486,951円）
令和6年度決算	6,120,422円	

一般の交通機関を利用して外出することが困難な市民の生活圏の拡大と社会参加を支援するために、福祉車両4台で送迎サービスを実施しています。

運行協力員7名とタクシー業者2社により実施しました。

また、安全に運行するため、運行協力員は全員運転者講習会に参加しました。

利用実績等

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
登録者数	34人	23人	28人
新規利用者数	15人	5人	8人
延利用者数	2,701人	2,338人	2,138人

令和7年度利用状況

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延利用者数	185	181	172	196	163	180	187	173	183	175	157	186	2,138

⑥ 配食サービス事業（おたっしや弁当）

令和7年度決算	19,977,709円	(前年度比 296,215円)
令和6年度決算	19,681,494円	

高齢者や障害のある方などに栄養のバランスのとれた食事を提供するとともに、配達員による見守り活動としても有効に機能しています。なお、原材料価格の高騰により、令和7年4月1日から自己負担額が改定されています。

- ・ 弁当代：650円（内個人負担400円）、おかずのみ：570円（内個人負担320円）
- ・ 委託業者：信州配食サービス

利用実績等

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
延利用者数	2,808人	3,088人	3,254人
新規利用者数	149人	146人	161人
延配食数 (おかずのみ)	59,706食 (31,421食)	64,675食 (34,223食)	67,691食 (35,231食)

令和7年度利用状況

利用者（対象者）数	人 数		
	昼	夕	合計
65歳以上の独り暮らしの方	740人	767人	1507人
高齢者のみの世帯で、食事づくりが困難な方	436人	516人	952人
ひとり暮らしの障害者	50人	106人	156人
寝たきりの人がいる2人世帯	0人	0人	0人
その他 ①障害以外を理由とする方	319人	185人	504人
③ 障害を理由とする方	63人	72人	135人
合 計	1,608人	1,646人	3,254人

対象者別の状況

対 象	利用時間	食 数	合計
障害者	昼	1,333食	4,900食
	夜	3,567食	
高齢者	昼	31,050食	62,791食
	夜	31,741食	

(4) 権利擁護事業

① 日常生活自立支援事業

令和7年度決算	1,578,680円	(前年度比 ▲1,280,470円)
令和6年度決算	2,859,150円	

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など判断能力が不十分な方に対して、住み慣れた地域の中で生活ができるように、福祉サービスを利用するときの手続きや利用料の支払いの

お手伝い、または日常生活に必要な預貯金の出し入れや書類等の預かりを支援します。長野県社協が事業の実施主体となり、茅野市社協は原村を管轄する基幹的社協に位置付けられています。

本会では、担当職員(専門員)のほか、生活支援員2名を配置しています。生活支援員は専門員の指示を受けて実務を行う等、専門員の補助的な業務を行っています。

利用実績等

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用援助回数	569件	634件	390件
契約件数(※)	20件	19件	13件
茅野市	18件	17件	12件
原村	2件	2件	1件
新規契約件数	3件	4件	0件
解約数	9件	5件	6件

※契約件数は、各年度3月31日現在の件数

※原村については、協力社協として原村社協職員と連携して対応しています。

② 法人後見事業

令和7年度決算	75,108円	(前年度比▲174,278円)
令和6年度決算	249,386円	

本会が成年後見人、保佐人もしくは補助人になり、判断能力が不十分な人の成年後見制度に基づく後見事務(財産管理や身上監護)を行い、高齢者や障害者の権利擁護支援を実施しました。

利用実績

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
法人後見件数	5件	6件	6件
うち新規受任件数	0件	2件	1件
うち後見終了件数	0件	1件	1件
後見活動内容	日常生活に係る金銭管理、入院時の日用雑貨購入等に伴う金銭管理、施設入所契約 ほか		

③ 茅野市・原村成年後見支援センター

令和7年度決算	8,468,095円	(前年度比 814,632円)
令和6年度決算	7,653,463円	

判断能力が十分でない知的障害者及び精神障害者(認知症高齢者を含む)が住み慣れた地域で安心して生活を維持できるよう、成年後見制度の普及・啓発、相談、その他、円滑な制度利用のための支援等を行っています。

国の第二期成年後見制度利用促進基本計画において、優先して取り組む事項の1つとして、任意後見制度の利用促進があります。任意後見制度はあらかじめご本人自らが選んだ人に代

わりにしてもらいたいことを契約で決めておく制度です。認知症等で判断能力が低下したときでも、尊厳のある本人らしい生活を継続することができるため、任意後見制度の普及と利用促進を目的に全4回の講座を実施しました。

利用実績

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
相談件数	83件	71件	122件
新規	50件	34件	57件
継続	33件	37件	65件
審判申立支援件数	7件	4件	13件
審判確定	0件	2件	6件
継続相談	7件	2件	-
後見人候補者調整件数 (法定後見選任)	2件 (0件)	3件 (3件)	2件 (2件)

主催講座 『わたしの老いじたく講座』

参加実人数：茅野市42名・原村12名 述べ参加者数：176名

開催日	講演内容
第1回 9月20日(土)	エンディングノートで考える、わたしのこれから 講師：プルデンシャル生命保険株式会社 長野支社 営業所長 中澤みゆき氏
第2回 10月18日(土)	相続について①～遺言～ 講師：山のふもとの司法書士・行政書士事務所 青井慎吾 司法書士
第3回 11月1日(土)	相続について②～住まいや土地のこと等～ 講師：中山弘明司法書士事務所 中山弘明 司法書士
第4回 11月29日(土)	もしもに備える契約～死後事務や任意後見制度等～ 講師：三井総合法律事務所 三井智和 弁護士

関係者会議・研修等

会議・研修	開催日・回数
茅野市・原村成年後見支援センター連絡会	3月2日
諏訪圏域成年後見制度利用促進体制整備の推進に係る関係者会議	8月7日・2月3日
諏訪圏域成年後見支援センター連絡会	11回
諏訪圏域成年後見スキルアップ研修	10月6日
市民後見人養成講座の視察	3か所

④ 頼れる身寄りがいない高齢者等への支援事業

市と協働でガイドラインの策定を進めました。

会議・研修	開催日・回数
「身寄りのない高齢者等への対応」にかかわる情報共有会議	10月30日
身寄り問題検討会	2回

(5) 生活困窮者支援事業

社会情勢が変化する中、就労収入の減少による生活費や転宅費の貸付相談等が寄せられました。令和6年度からは、新型コロナウイルス感染症拡大に対する緊急小口等特例貸付後のフォローアップ支援がはじまり、借受人を含む生活困窮者世帯の生活再建に向けた支援に取り組んでいます。

① 生活福祉資金貸付事業

令和7年度決算	636,600円	(前年度比 215,237円)
令和6年度決算	421,363円	

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯の生活を経済的に支えるため、長野県社会福祉協議会及び茅野市社会福祉課に設置されている「まいさぼ茅野市」の相談員と連携して事業を進めています。相談者にとって貸付が適正であるか、無理のない返済計画であるか等を検討し、貸付を行いました。

また、支援機関との連絡会に出席し、職員のスキルアップや支援体制の充実に努めました。

貸付実績

資金名	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	件数	金額(元金)	件数	金額(元金)	件数	金額(元金)
総合支援資金	0件	0円	1件	713,180円	2件	573,000円
福祉費	2件	277,830円	0件	0円	2件	281,000円
緊急小口資金	8件	800,000円	2件	140,000円	2件	180,000円
教育支援資金	1件	444,000円	0件	0円	3件	1,364,000円
合計	11件	1,521,830円	3件	853,180円	9件	2,398,000円

② 暮らしのつなぎ資金貸付事業

令和7年度決算	0円	(前年度比 ▲118,000円)
令和6年度決算	118,000円	

市内の要保護世帯及び母子世帯等に対し、一時的な生活のつなぎ資金を必要とする場合に短期の無利子融資を行い自立を支援しています。

・貸付限度額：40,000円 ・返済期間：6ヶ月以内

貸付実績

資金名	令和5年度貸付		令和6年度貸付		令和7年度貸付	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
暮らしのつなぎ資金	0件	0円	0件	0円	0件	0円

③ 生活困窮者自立支援事業

令和7年度決算	9,106,351円	(前年度比 ▲608,593円)
令和6年度決算	9,714,944円	

生活困窮者自立支援法に基づき茅野市社会福祉課に設置している「まいさぼ茅野市」に2名の職員が出向し、生活困窮者の相談支援業務に従事しています。

また、長野県社協が実施する『あんしん創造ねっと』に加入し、各種事業の利用により既存の制度やサービスでは対応できない個別課題に対する支援を実施しました。

あんしん創造ねっと利用実績

事業	令和5年度	令和6年度	令和7年度
入居保証・生活支援事業	3件	1件	2件
身元保証・就労支援事業	0件	0件	0件
医療受診支援事業	0件	1件	0件
買い物等同行支援事業	0件	0件	0件
地域住民との協働活動支援事業	0件	0件	0件

④ 特例貸付フォローアップ・相談支援体制事業

令和7年度決算	11,523,741円	(前年度比 7,696,291円)
令和6年度決算	3,827,450円	

長野県社協の『特例貸付フォローアップ・相談支援体制強化事業』補助金を活用し、新型コロナウイルス感染症拡大に対する緊急小口等特例貸付後、償還困難になっている世帯や償還免除になっている世帯等のフォローアップ支援・生活再建に向けた支援を多機関と連携して進めています。

令和7年度は、特例借受人を含む一般市民向けに「暮らし応援お役立ち講座」を4講座（計5回）開催し、延べ33人（うち特例借受者5名）の参加がありました。

令和7年度 貸付種別（緊急小口資金・総合支援資金初回貸付・延長貸付・再貸付）償還状況

	令和6年4月1日	令和7年3月31日	令和8年3月31日
償還完了	10人	77人	96人
未償還	319人	211人	197人
償還免除者	206人	237人	240人
償還猶予	6人	16人	11人

令和7年度訪問等実績

訪問件数	124件（うち本人または家族との面会件数 42件）
架電件数	73件（うち応答のあった件数 53件）
※ 訪問・架電等から少額・免除申請等へ繋がったと思われる件数 15件	

⑤ 『一握りのお米 支援米』への取組

失業や収入の減少、倒産などの様々な事情により生活に困窮する世帯に配分するため、お米の一部を備蓄しています。

- ・取組期間：10月6日から11月28日まで
- ・支援米：327.5kg（39%減（前年度 536 kg））
- ・ご協力いただいた方々：16個人
- ・送付先：市内の生活困窮世帯（社協備蓄分）、子ども食堂等を運営する支援団体

⑥ 公立諏訪東京理科大学の学生に向けた支援米募集

物価高騰で生活費を切り詰めながら暮らす学生を応援するため支援米を募集しました。

- ・募集期間：7月28日から9月16日まで
- ・支援米：212kg
- ・ご協力いただいた方々：1団体2個人

⑦ フードドライブへの取組

家庭で使いきれない未使用食品（缶詰、レトルト食品、乾物、調味料、菓子等）などを社協へ寄付いただきました。寄付いただきました食品は、市内の生活に困窮する世帯、まいさば茅野市へ配布しています。

フードドライブ実績

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
個人	43人	21人	17人
団体・企業等	7団体	11団体	4団体
寄附品数	745品	775品	534品

(6) ボランティア・市民活動推進事業

① 茅野市社協ボランティアまちづくりセンター事業

令和7年度決算	5,070,842円	(前年度比 3,884,989円)
令和6年度決算	1,185,853円	

「地域を育む」という意識を持って、誰もがお互いに支え合える地域づくりを推進していくため、ボランティア・まちづくりの推進、福祉教育の推進に向けた取組を行いました。

「ふくし」を我が事として考えるきっかけづくりとして、学校や地域における福祉教育を実施するとともに、ボランティア活動者や団体からの悩みや相談に応じながら、活動状況を把握し、活動の継続や活性化への支援に取り組みました。

(ア) 福祉教育の推進

① 出前福祉教室

高齢者や障害のある方との交流や、車いすや疑似体験、ガイドヘルプ体験等を通して、児

童・生徒及び教職員の皆さまとともに『ともに生きること・ともに学びあうこと』を考えていただくことを目的に、市内の小学校・中学校・高等学校で出前福祉教室を実施しました。

また、広報紙「やらざあ」において、各学校の福祉教育の取組を特集した「がっこう×(カケル) ふくし」の総集編を作成し、関係者へ配布しました。

開催実績

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
開催数	50回	51回	51回
開催学校数	11校	12校	10校
延参加者数	1,210人	1,498人	1,490人

(イ) 社会福祉普及校指定事業

小学校・中学校・高等学校を『社会福祉普及校』として指定し、児童・生徒の社会福祉への理解と関心を高め、他人に対する思いやりの心や主体性を育てるとともに、児童・生徒を通じて家庭及び地域社会への啓発を図ることを目的として、各校に 30,000 円の補助金を交付しました。

令和7年度 各校の実施内容

学校名	実施内容
永明小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ボッチャで交流を楽しもう ・視覚障がいてなに?～アイマスク体験を通して学ぼう～
宮川小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉ボランティア委員会 (赤い羽根共同募金・福祉クイズ・パラリンピック競技体験・あいさつ活動)
米沢小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級 自立活動交流活動 ・特別支援学級 よねりん福祉バザー ・4学年 副学籍児童(諏訪養護学校児童)交流 ・出前福祉教室
豊平小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・赤い羽根共同募金 ・ケアホーム豊平訪問 ・人権の花(ありがとうの花) ・出前福祉教室
玉川小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設(高齢者施設)の訪問(太鼓交流) ・異年齢交流(保育園との交流) ・梅林管理ボランティアさん(旧高嶺会)との交流
泉野小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉学習、交流活動 (出前福祉講座・赤い羽根共同募金・書き損じはがき収集)
金沢小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・出前福祉体験(1年・3年・4年・6年) ・みんなで花を育てよう
湖東小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・出前福祉教室「認め合う」(1～6年生各学年対象)

清拭布裁断ボランティア（ちょきちよきボランティア）

実施日	会 場	参加人数	裁断清拭布
7月13日（日）	茅野市ひと・まちプラザ 3階集会室	22人	約3,800枚 (約48kg)
2月7日（土）	茅野市ひと・まちプラザ 3階集会室	21人	約3,000枚 (約50kg)

雑巾裁縫ボランティア（ちくちくボランティア）

実施日	会 場	参加人数	雑 巾
11月16日（日）	茅野市ひと・まちプラザ 会議室301・302	18人	107枚

(オ) ボランティア活動支援

地区（区・自治会）では、“閉じこもり”や“孤独”を防ぎ、「寝たきり予防・認知症予防」につながるといわれている『いきいきサロン活動』をはじめ、様々なボランティア活動が行われています。高齢化による会員の減少や解散等の課題もある中、高齢者の自宅を訪問し、お弁当などを届けながら住民同士が交流する宅配事業など、自分たちでできる活動を行っています。

地区のボランティアの会が主催する会議やサロン、宅配事業等に参加し、活動の把握と活動継続や活性化への支援、ボランティア活動者との関係づくりに取り組みました。

活動実績

(回)

	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	地区	区 自治会	地区	区 自治会	地区	区 自治会
総会・役員会等の開催	13	5	13	2	7	12
いきいきサロンの開催	4	16	2	26	2	22
宅配（配食）弁当・菓子配布	5	15	2	15	1	20
研修・学習会の開催	2	0	1	2	3	3
世代間交流会の開催	0	2	0	1	0	2

(カ) ボランティア・市民活動助成金の交付

茅野市内における地域福祉の向上を目指し、継続的に福祉活動を行う地域住民及び民間団体の自主的で自発的なボランティア活動を育成及び支援することを目的として、ボランティアグループの活動に対し、必要な資金の助成を行いました。令和7年度より助成額を上限50,000円に増額し、併せて、令和7年4月1日以降新たに活動団体等を設立し、事業を実施する団体に、活動団体等設立費（上限10,000円）の交付を行いました。

交付実績

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
申請団体数	18団体	22団体	30団体
うち新規設立団体	—	—	2団体
交付済額	659,906円	810,000円	1,328,000円

(キ) ボランティア活動相談・コーディネート

市民やボランティア・市民活動団体などからの相談に対応し、情報提供や助言、ゆいわーく茅野など関係機関へのコーディネートを行いました。

相談実績

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
相談件数	38件	40件	47件

備品の貸出し件数（団体数）

備品名	貸出件数
福祉教室用福祉用具（高齢者疑似体験セット・アイマスク・点字器セットなど）	28件
車いす	113件

(ク) ボランティア保険加入、保険請求事務

ボランティア活動者が安心して活動に取り組めるよう、ボランティア保険の加入促進を図りました。

ボランティア保険加入・保険請求の状況

	件数	人数
保険加入	159件	5,585人
保険請求（保険金給付）	4件（4件）	3人

(ケ) 災害支援体制整備事業

災害に備えて、災害時の被災者支援や災害ボランティアセンターの役割や運営について理解していただくとともに、ボランティア、地域、社協が協力して、災害時にも強い地域づくりを目指し、防災研修を実施しました。

実施日	内容
3月10日（火）	ボランティア×地域×社協で 災害時にも強い地域づくり研修会 会場：茅野市ひと・まちプラザ3階集会室 講師：長野県社会福祉協議会 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議メンバー 山崎博之氏 参加者：市民等21人

(6) どっこいしょ広場の運営管理

「どっこいしょ広場」は、平成14年3月にベルビア1階に開設されました。開設以来約23年間、高齢者向け福祉バスの待合いや各種イベント等に利用できるフリースペースとして、誰もが自由にひと休みできる場として開放してきました。

また、「どっこいしょ広場の管理運営等に関する覚書」に基づき、本会が運営管理を担ってきましたが、ベルビア1階北側未利用床交流拠点整備事業に伴い、令和7年9月30日をもって閉鎖されました。

(7) 共同募金配分事業

令和7年度決算	4,382,768円	(前年度比 ▲245,706円)
令和6年度決算	4,628,474円	

赤い羽根共同募金運動の募金実績により、地域助成として長野県共同募金会から茅野市社協に交付された配分金を、地域の福祉活動に還元（配分）しています。

配分実績

配分先	令和5年度	令和6年度	令和7年度
茅野市社会福祉協議会	986,094円	1,453,408円	684,512円
小学校・中学校・高等学校の福祉普及活動	420,000円	420,000円	420,000円
地区社会福祉協議会（10地区）	1,954,208円	1,945,066円	1,950,256円
市内ボランティアグループ	659,906円	810,000円	1,328,000円
災害援護金	0円	0円	0円
合計	4,020,208円	4,628,474円	4,382,768円

2 居宅介護等事業

(1) 居宅介護支援事業

令和7年度決算	11,290,957円	(前年度比 444,269円)
令和6年度決算	10,846,688円	

介護支援専門員が依頼を受け、利用者に応じた適切な「居宅介護サービス計画書」を作成し、計画に基づいたサービスが提供されるようサービス提供事業者等と連携を図り、利用者が安心して在宅での生活を送れるよう支援しました。

居宅介護支援実績

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
居宅介護支援	551件	824件	837件
介護予防支援	15件	0件	0件
合計	566件	824件	837件

月別状況

(件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
居宅介護	69	67	71	71	69	67	71	71	68	70	72	71	837
介護予防	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	69	67	71	71	69	67	71	71	68	70	72	71	837

(2) 訪問介護事業

令和7年度決算	37,317,725円	(前年度比 943,061円)
令和6年度決算	36,374,664円	

訪問介護事業所のホームヘルパーが、高齢者及び障害者宅を訪問し、「訪問介護計画書」に沿い、安心して在宅生活を送れるよう身体介護・生活援助の介護サービスを提供しました。

介護保険（訪問介護）実績

		令和5年度	令和6年度	令和7年度
要介護	実人数	47人	70人	68人
	延利用者数	7,365人	7,505人	7,299人
要支援	実人数	25人	28人	30人
	延利用者数	1,697人	1,726人	1,842人

※実人数は各年度の各月の平均人数（小数点以下四捨五入）

月別状況

(人)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
要介護	実人数	51	53	56	55	55	54	48	48	44	47	44	47	
	延利用	610	636	690	735	706	637	582	537	535	561	514	556	7,299
要支援	実人数	23	24	25	25	25	25	26	23	24	23	23	22	
	延利用	136	153	145	166	156	161	169	144	155	148	151	158	1,842

障害者サービス実績（延利用者数）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
居宅介護	148人	117人	118人
同行援護	19人	16人	12人
移動支援	0人	0人	0人

(3) 西部デイサービス事業

令和7年度決算	46,998,086円	(前年度比▲9,086,898円)
令和6年度決算	56,084,984円	

西部デイサービスセンターにおいて、「通所介護計画書」に沿った入浴、排泄、食事の介助、機能訓練その他必要な介護サービスを提供しました。

なお、「茅野市社会福祉協議会中期経営計画における経営改革アクションプラン(Management Reform Action Plan 2025)」に基づき、「イノベティブな茅野市社協改革」を進めるため、また、昨今の介護・福祉ニーズの多様化による利用者の減少、介護人材の不足、施設の老朽化等により継続的な運営が困難になってきたことから、今後社協が担うべき機能の強化に向けて慎重に協議を重ねた結果、本会が通所介護サービス事業を担っていく役割は一定程度果たしたものと判断し、令和8年1月31日、終了（事業所閉所）しました。

西部デイサービスセンター利用実績

		令和5年度	令和6年度	令和7年度
要介護	実人数	43人	60人	47人
	延利用者数	4,194人	3,965人	2,735人
要支援	実人数	8人	9人	9人
	延利用者数	459人	505人	406人

※実人数は各年度の各月の平均人数（小数点以下四捨五入）

月別状況

(人)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
要介護	実人数	41	39	40	38	38	36	35	34	27	6			
	延利用	337	345	331	342	322	327	312	223	176	20			2,735
要支援	実人数	8	8	9	8	8	8	7	6	3	0			
	延利用	50	46	52	58	50	55	48	35	12	0			406

主な行事

4月	お花見ドライブ	7月	納涼会
----	---------	----	-----

3 障害福祉サービス事業

(1) 相談支援事業

令和7年度決算	671,368円	(前年度比143,164円)
令和6年度決算	528,204円	

諏訪圏域にお住いの障害者・障害児やその家族、市町村、病院等から障害福祉サービスの利用について相談を受けています。また、障害福祉サービスを利用される方には、その方のニーズに合った利用計画を作成します。必要な障害福祉サービスを利用できるように、ご本人や関係者が一堂に会しサービス調整会議を行い、利用開始後は数か月に1度、モニタリング会議を行って障害福祉サービス利用の振り返りを行います。

相談支援実績

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
相談契約者数	60人	56人	89人
障害者	45人	46人	65人
障害児	15人	10人	24人
計画作成・モニタリング件数	163件	213件	353件

(2) 就労継続支援B型事業(あすなろセンター)

令和7年度決算	35,256,654円	(前年度比5,958,094円)
令和6年度決算	29,298,560円	

あすなろセンターでは、障害のある方のうち、雇用契約に基づく就労が困難な方に対し、就労の場として多様な作業を提供しています。あわせて、社会生活の場を広げるため、地域の方との交流や季節に応じた余暇活動等を実施しています。これらの活動を通して、仲間との関わりや交流を深めるとともに、生活習慣の改善や心身機能の維持・向上を図っています。

また、安定した施設運営のために給付費収入を確保するには、前年度の利用者の月額工賃を維持または向上させることが重要です。一方で、ご家族への支援や他サービスの併用の必要性もあることから、1日当たりの通所者数が減少しないような工夫が求められます。

利用実績(定員20名)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
登録者数	16人	17人	16人
延利用者数	197人	199人	188人

※登録者数は各年度の3月31日現在の人員数

主な作業内容

<ul style="list-style-type: none"> ・ボカシ製造・販売 ・ゴム製品検品 ・精密組み立て作業 ・にんにくの皮むき作業 ・味噌カップラベル貼り ・寒天袋詰め作業 	<ul style="list-style-type: none"> ・諏訪合同庁舎清掃 ・上古田区公民館清掃作業 ・中大塩区 ・赤い羽根作業 ・介護お役立ちガイドブック印刷・製本 ・タオルたたみ作業
---	--

就労支援事業の状況

		令和5年度	令和6年度	令和7年度
取引業者数		13事業者	14事業者	14事業者
事業収支	総収入額	2,611,982円	2,692,148円	2,588,565円
	必要経費	159,718円	274,748円	302,017円
	実質収入額	2,452,264円	2,417,400円	2,286,548円
平均工賃(月額)		14,291円	11,850円	11,909円

主な行事

5月	避難訓練	11月	避難訓練
7月	納涼祭	12月	クリスマス会
9月	昼食会	3月	昼食会
10月	ミニ運動会		

(3) 日中一時支援事業

令和7年度決算	75,484円 (前年度比 ▲8,020円)
令和6年度決算	83,504円

一時的に見守り等の支援が必要な障害者等に対し、日中の活動の場を確保するとともに、その家族の就労支援および日常的に介護を担う家族の一時的な休息を図ることを目的として、令和4年6月に事業を開始しました。

また、本事業に携わる支援員を地域の方に担っていただくことで、あすなろセンターと地域とのつながりを深めながら事業を展開しました。

利用実績

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実人数	4人	5人	4人
延利用者数	283人	280人	209人

4 その他事業

(1) 赤い羽根共同募金

長野県共同募金会茅野市共同募金委員会の事務局として、赤い羽根共同募金運動全般のとりまとめを行いました。

① 茅野市共同募金委員会の運営

(ア) 運営委員会の開催

開催日	出席者数	主な内容	備考
6月2日(月)	32人	・令和6年度事業報告・決算 ・運営委員の選任	
9月9日(火)	32人	・令和7年度赤い羽根・歳末助け合い募金の要領について ・令和7年度運営委員会補正予算について	
3月10日(金)	32人	・運営委員・審査委員の選任	書面決議

(イ) 定例監査の実施

5月26日(月)	令和6年度の事業報告及び決算について
----------	--------------------

(ウ) 高額募金・永年募金者の表彰

高額募金	1名、1団体
永年募金	対象なし

② 赤い羽根・歳末助け合い募金運動

・募金期間：10月1日～12月31日

募金実績

令和5年度	令和6年度	令和7年度
7,442,066円	7,359,256円	7,157,100円

③ 災害援護金の交付

市内で発生した火災・風水害等で住家が半焼、半壊、床上浸水以上の被害を受けた世帯に、お見舞いとして災害援護金を交付しています。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
交付件数	0件	0件	0件
災害援護金総額	0円	0円	0円

④ 地区社会福祉協議会への配分

地 区	配 分 額	地 区	配 分 額
ち の	155,966 円	泉 野	91,837 円
宮 川	473,952 円	金 沢	183,566 円
米 沢	93,261 円	湖 東	257,873 円
豊 平	29,828 円	北 山	160,325 円
玉 川	192,660 円	中大塩	70,988 円
配 分 額 合 計			1,950,256 円

(2) 4市合同地域福祉実践研究会

愛知県半田市、富山県氷見市、三重県伊賀市、茅野市の4市で構成する研究会。様々な地域福祉課題や施策について、社協及び行政が集い情報共有や意見交換を行うことを目的に開催しています。令和7年度は、10月25日(土)から26日(日)にかけて、三重県伊賀市にて本研究会が開催されました。併せて、4市社協による災害時相互応援協定を再締結し、広域的な支援体制の整備を進め、平時からの顔の見える関係づくりを推進するとともに、実効性のある支援体制の構築に努めました。

(3) 諏訪ブロック社会福祉協議会

岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村の社会福祉協議会の相互連携による社会福祉の健全な発展、社会福祉活動の活性化、地域福祉の推進、役職員の資質の向上のため、諏訪ブロック社協を組織し、ブロック単位での事業を計画・実施しています。各年度持ち回りにより各市町村社協が事務局を担っています。

活動内容

開催日	会議等	内 容
7月7日(月)	事務局長・次長会議	・令和6年度事業報告・決算 ・令和7年度事業計画・予算 他
7月24日(木)	地域福祉・ボランティア担当者会議	・諏訪ブロック社協未来塾1 ・サマーちゃれんじについて
8月8日(金)	総会	・令和6年度事業報告・決算 ・令和7年度事業計画・予算 他
9月8日(月)	地域福祉・ボランティア担当者会議	・諏訪ブロック社協未来塾2
11月13日(木)	職員研究協議会	・講義「10年後の社協を取り巻く環境と生き残り戦略」
1月16日(金)	役職員合同研修会	・講演会 「災害発生における被災地の支援について」
2月27日(金)	地域福祉・ボランティア担当者会議	・諏訪ブロック社協未来塾3